広報なばり
市政と暮らしを結ぶ情報紙
2－2号
No.1118
毎月2回発行
ケータイHP
2016年（平成28年） 2月28日発行

主な内容

4……移動図書館「やまなみ号」をご利用ください
5……軽自動車・バイクの廃車や名義変更を忘れずに
6……いきいき教室　8……個人番号カードの交付は電話予約で

発行／名張市企画財政部広報対話室　〒518-0492 名張市鴻之台1-1　☎ 0595−63−7402　pr@city.nabari.mie.jp　HP http://www.city.nabari.lg.jp

広報なばりは、ポスティングで配布しています。発行日の4～5日前から事業者がお届けしています。配布についてのお問い合わせは、名張市シルバー人材センター（☎63・6800）へお願いします。

問 広報対話室　☎63・7402

みんなで支える！
なばりの子育て

核家族世帯が増え、若い子育て世代は不安や悩み・疑問を抱えることがあります。そんな時のために、市ではさまざまな相談・支援の場や仕組みづくりに取組んでいます。今号では、産み育てるにやさしいまちづくりを目指す市が取り組む子育て支援「名張版ネウボラ」の内容や相談・支援の窓口を紹介します。

問 健康支援室　☎63・6970

■名張版ネウボラとは？

名張版ネウボラとは、産み育てるにやさしいまちなばりを目指した妊娠・出産・育児の切れ目ない相談・支援の場であり、システムです。

全ての妊婦・乳幼児の保護者に寄り添う相談・支援体制を目指しています。

■不安を解消できる支援

これまで主任児童委員や保健師に対して、おっぱいのことでの悩みが多数寄せられていました。そこで市は、助産師による「安心育児・おっぱい教室」を試行的に始めることにしました。

また、妊婦の気持ちや必要な支援を知るため、平成26年度に主任児童委員が乳幼児宅全戸を訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」で計570人のお母さんにアンケートを実施しました。「今、心配なことはありますか？」という質問に対し、赤ちゃんの体のこと（86人）に次いで、ミルクやおっぱいのことが2番目（69人）に悩む人が多いということが分かりました。

不安な声の実態が把握できたことで、本格的に「おっぱい教室」を始め、出産後だけでなく、妊娠中からおっぱいが出るか、足りているか心配という不安の声を解消できるようにしました。

他にも、市では妊娠届出時アンケートなどを行い、潜在的に不安を抱える人をケアする取組みを名張版ネウボラは目指しています。

■今後の子育て支援

昨年実施した市民意識調査で、今後名張市はどの分野に重点的に取り組むべきだと思いますかという質問に対し、20代・30代は共に「子育て支援の充実」が最も多い回答となりました。

別の質問では、市内の保育施設や子育てサービス、相談窓口などの子育て支援について「十分満足している」「やや満足している」と答えた20代は64・1％、30代は54・6％と、子育て世帯からの高い関心がうかがえる結果となりました。

今後は、特に思春期や妊娠前の健康づくりから健やかな子育てにつながる取組みや、妊娠に悩む人への相談・男性や女性の不妊に関する相談や助成事業の周知を強化していきます。

また、市と共に地域ぐるみで子育てを支えられるように、シニア世代が健康づくりと併せて子育て支援に活躍していただくための研修事業にも取組みます。

人口と世帯数
2月1日現在　（　）は前月比

人口 80,420人（－49人）　男 38,855人（－30人）　女 41,565人（－19人）　世帯数 33,269世帯（－6世帯）